広報 たかのす
発行所 鷹巣町役場町長室
電話（代）550番　直通42番
（発行部数 6,100部）
印刷所 秋北新聞社

第三回町議会臨時会開く

四十一年度町一般会計最終予算四億八九一六万円となる

第三回町議会臨時会は六月三日午前十時から役場会議室で行なわれました。四月行なわれた町議会議員補欠選挙で選ばれた三議員の自己紹介のあと、同議員の議席、常任委員会の所属を決定。三十議席が久ぶりで整った。

長谷川慎一郎議員は議席十九番、総務常任委員となり、町長就任にあたり議会六番、産業経済常任委員。ったとともに住民の代表として十分その責を果したいとの渡辺茂雄議員は九番、土木議事に入る前に、出川町長から就任のあいさつがあ常任委員、伊原勇一議員は常任委員、伊原勇一議員は

提案された議案の内容は次のとおりです。

四十一年度町一般会計補正予算

昭和四十一年度町一般会計予算を三月二十九日付けで、補助金およびその他の財源決定がおくれたので専決処分したもの。

予算内容は、歳入歳出にそれぞれ三百三十五万四千円を追加するもので、これで四十一年度町一般会計予算額は四億八千九百十六万三千円となりました。

追加補正された歳入歳出の主なものは、

▼歳入

▽衆議院議員選挙事務委託金＜国庫委託金＞二十五万四千円▽土地売払収入＜財産売却収入＞百七十万円―これは小猿部川ショートカットにより建設省が売収した農林高校農場敷地▽地下資源開発事業寄付金＜寄付金＞百四十万円

▼歳出

▽衆議院議員選挙費二十五万四千円―事務従事者手当、除雪ブルドーザ借上など▽地下資源開発試堀工事費百四十万円―中央公園地内の試堀工事▽農林高校PTA運営費寄付金七十万円

＜議案第三二号＞

町村職員退職手当組合の一部変更

鷹巣町外三ヵ町村衛生施設組合が県町村職員退職手当組合へ新規加入することになったので、地方自治法の規定により議会の議決を経なければならないもの。

＜議案第三三号＞

公立米内沢病院組合議会議員に長岐（佐）鈴木議員

森吉町外三ヵ町村病院組合議員は、五月二十三日任期満了となったので、後任議会議員二名を選挙するもの。―これは旧七日市村が同一部事務組合に加入しているので、七日市地区の被選挙権者のなかから二名選出するものです。後任者には長岐佐一郎氏（町議―新）鈴木重一郎氏（町議―再）が決まりました。

＜選挙第二号＞

善意＞遺族会へ二千円

このほど本町に居住していたことのある東京都中野区多田町十二、親和荘内、丸岡末吉氏から戦没者である令息の慰霊費として二千円を町遺族会へ寄せられました。

春の交通安全旬間おわる

○…春の全国交通安全運動旬間は五月二十二日から五月三十一日まで十日間各地に展開されました。

○…鷹巣町でも、町民のみなさんが積極的に街頭にでて児童生徒の登下校の時間（特に朝七時から八時まで）に交通指導のため参加されたことは、これからの無事故記録をたてるために、盛りあがりであったと思います。

○…街頭指導に出ているおとうさん、おかあさんや野良着のまま「交通安全一のタスキ」をかけた人たち、黄色の安全旗を掲げたお兄さん、お姉さんや交通指導隊のおじさんたちが、町ぐるみで交通安全のため参加しました。この力で町から交通暴力を追放に努ましょう

町長が米代川水系治山治水期成同盟会長に

北秋田郡町村会臨時総会は五月二十三日開かれましたが、米代川水系治山治水期成同盟会長に出川町長が選ばれました。

町道佐戸岱線など改良工事完成

このほど町道改良工事中であた七日市地区中畑、緩子佐戸岱線の道路が完成しました。

町道中畑線の道路改良は五万四千円―事務従事者手当、除雪ブルドーザ借上など▽地下資源開発試堀工事費百四十万円―中央公園地内の試堀工事▽農林高校PTA運営費寄付金七十万円

＜議案第三二号＞

町道中畑線は田中地内国道一〇五号線から、国道七号線までの間を延長五百十六㍍で、もと農道（幅員三㍍）であったものを幅員七㍍にし、工事費七十四万四千円で総工費二百八十一万四千円（工事費百五十二万円、用地費百二十九万四千円）で完成したもの。いずれも地元負担三分の一。

佐戸岱線は中畑地内から旧町道沿いに町道日市～松沢線まで結ぶ三百二十九㍍、幅員が四百三十㍍で、工事費二百八十一万円で総工費二百八十一万円、用地費百二十九万四千円で完成したもの。

写真はできた佐戸岱の町道

役場日誌

＜五月中分＞

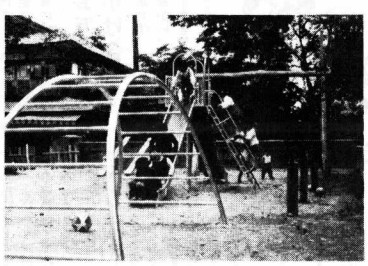
1日 ▼生活保護費支給
2日 ▼農業技術者連絡協議会＝町内農林業関係事務担当者が横のつながりをもって農林振興につとめるため組織したもの▼葛黒小学校六十周年記念祝賀会＝同校で
4日 ▼定例農業委員会
▼モチ米調整打合せ会
5日 ▼第七回全町子ども大会＝児童公園で
▼学校基本調査審査会
10日 ▼福祉協議会総会＝四十一年度決算、四十二年度事業計画、同予算が決まる▼町立鷹巣南中学校校舎増築および寄宿舎落成式＝同校で▼鷹巣町社会教育推進協議会＝町内の社会教育関係者が参加し、四部会にわれ各部会毎に事例にもとずいて今後の推進に資するもの＝公民館で
11日 ▼町長事務引継ぎ＝成田前町長との事務引継ぎ
12日 ▼出川町長就任初登庁＝午前九時、役場職員に訓示▼町農業近代化ゼミナール開講式と農事講演会＝農業従事者青年の学習ゼミ。ことしからは家政コースを開設して、若妻教育も行なう。講演は「これからの農業経営のありかた」について、岩手大学農学部教授石川武男氏＝公民館で
13日 ▼所得税修正申告
15日 ▼福祉協議会総会＝更正協会鷹巣支部総会＝公民館で
16日 ▼鷹巣町身体障害者民総参加鷹巣町大会＝町内の関係機関の代表者が集まり、交通事故対策を協議する。県から小池総務部長も出席、出川町交通事故対策協議会長が小畑知事からのメッセージをうける。
18日 ▼民生委員全員協議会＝昭和四十二年度事業計画の承認
19日 ▼鷹巣町体育協会理事会＝四十一年度決算四十二年度事業計画お
20日 ▼大野台地区国営総合開拓パイロット事業調査採択報告会＝農林省内藤経済課長、小畑知事、出川町長
22日 ▼農業構造対策説明会＝第二次農業構造改善事業希望部落に対する説明会で沢口一部地域▼町長鷹角線敷地期成同盟会総会出席のため秋田市へ出張▼春の全国交通安全運動のため町民参加＝三十一日まで
23日 ▼季節保育所はじまる＝町内五カ所
24日 ▼鷹巣町仁部校長会
26日 ▼鷹巣町遺族会総会
27日 ▼鷹巣町仁部校長会＝専門部会▼交通対策県民総参加鷹巣町大会＝町内の関係機関の代表者が集まり、交通事故対策を協議する。県から小池総務部長も出席、出川町交通事故対策協議会長が小畑知事からのメッセージをうける。
29日 ▼鷹巣町青少年問題協議会＝四十一年度事業報告、四十二年度の方針と重点目標について▼町青少年健全育成世話人の委嘱について協議する。
30日 ▼日赤奉仕団幹部会議＝日赤事業の推進に伴なう社資増強など。▼町内の文化財保存について＝文化財に指定される綴子の内館文庫保存、埋没家屋発掘などについて話合う＝公民館で

脇神に子どもの遊び場できる

みんなの力で明るい社会をつくろうと毎年十月一日から「赤い羽共同募金」が行なわれています。その共同募金運動二十周年を記念して子どもの遊び場が、郡内二カ所のうち本町で脇神部落に設置され、このほどりっぱな遊び場が完成しました。

この脇神子どもの遊び場は、部落会館前広場は大滑り台、複列シーソー、わん型梯子各一台。建設費は県社会福祉協議会から三万円の補助、地元部落から寄付金三万円、設置団体である町福祉協議会から四万円、計十万円でできたものです。

対象児童数は七十七人です。また同所に季節保育所が開設されていますが、子どもの健全な遊び場として、健康の増進、交通禍から守るため利用されています。



【元気で遊ぶ子どもの遊び場】

今月の納税

町県民税　第1期

◎納期限に納めましょう

6月のこよみ

1日　気象記念日、電波の日、全国水道週間、高圧ガス危害予防週間、植栽手入れ強調月間、鉄道妨害防止運動、日赤社資増強月間（町）、町県民税第一期納期
4日　歯の衛生週間
7日　計量記念日
10日　時の記念日
12日　入梅
18日　父の日、家庭の日
21日　夏の健康増進運動（七月二十日）
25日　らいを正しく理解する週間
28日　貿易記念日

◎『家庭の日』は家族で有意義に過しましょう

低所得世帯の妊産婦とこどもにミルク無償交付

いままで母子保健対策に千円）が計上されていますが、児童福祉法に規定されていましたが、昭和四十一年一月一日に施行された「母子保健法」により健全な児童の出生及び育成の基盤となるべき母性の保護及び尊重並びに心身ともに健全な人として成長してゆくための条件となるべき母性及び乳幼児の健康増進のために、国及び地方公共団体が努めるべきことになりました。その一つに市町村が妊産婦及び乳幼児に対する栄養の摂取に関し、必要な援助に努めることを規定しています。

わが町でも昭和四十年末から、生活保護の被保護世帯または、町民税均等割の課税世帯の妊婦や乳幼児を対象に母子栄養食品を無償で支給してきました。今年度予算ではミルク無償交付として九万一千八百円（うち県補助金六万九千円）が計上されています。無償ミルクを受けることができる期間は、原則として妊婦については六カ月間、産婦については三カ月間とし、乳幼児については生後四カ月以降九カ月間とされ、ミルク支給の基準量は、一人一日あたり牛乳一本（一八〇CC）です。ミルクの受給を希望する妊産婦や乳幼児の保護者は、所定の申請書に母子健康手帳を添えて、町長へ申請することになっています。

町民税均等割のみ課税世帯の母子栄養食品支給の適正されました。

商品販売者の義務

1、容器とともに販売するのあるもの。

◎商品を容器に入れ、または包装して販売するときは必ず量目を表記すること。

2、商品量目の明示

◎購入者の目の前で計量すること

◎購入者が計量に立ち会わないときは伝票に量目を記入して購入者に渡すこと。

◎あらかじめ計ってある商品は量目を包装紙の上に書くこと。

3、正味量表記の方法

◎密封商品の正味で表記して、ひと目ではっきりわかるようにすること。

◎正味を表記した場所を附記すること。

4、計量器の定期検査について

◎商取引や証明上に使用する計量器は必ず定期検査を受けましょう。

計量は正確に

計量は暮らしの中で大切な役目をつとめています。

計量記念日を機会に計る習慣をやしないましょう。

◎計量法は「商品の量を正確に計るということ、消費者の経済生活を保護すること」を重点に次のとおり改正されました。

竜森地区で健康診療

鷹巣RCで

鷹巣ロータリークラブでは、へき地住民の健康診療を行なうため、七日市竜森地区において町の後援で実施します。

日程は六月十一日午前十時から午後三時まで。

診療内容は内科、外科、眼科、小児科関係で、児童は眼科のみ診察します。診察は同ロータリークラブ員である医師があたります。

あなたも「赤十字社員」に

6月1日から全戸加入運動

赤十字のマークは、愛の献血運動、災害の救助などですでにご存知のことでしょう。

JRC（青少年赤十字奉仕団）は町内高校、各種学校でも多くの会員がいて、最近では阿仁町火災への見舞金募金のため街頭にでて活躍しています。これも赤十字の事業です。

あなたも赤十字社員になれます。「日本赤十字社」は一定の社費によって組織されている特殊法人で、一人一人の社費は、一人当たり増強運動が始まっております。全戸社員加入運動として五年目をむかえますが、あなたの近くに奉仕員がお伺いしますので、どうかご加入下さい。

ことしの鷹巣町での目標は五一三、八〇〇円です。

盛況の季節保育所

農家はいまネコの手も借りたい時期です。

町では、農家のお母さんがたは毎日田植えにでていますので、少しでも過重な労働から開放し、放任されがちな子どもたちを一カ所に集めて行なう季節保育所をひらいています。季節保育所は町七万五千円を補助し、ことしは松沢部落会館、上舟木児童館、脇神部落会館と七日市保育園、綴子保育園行でなっています

各季節保育所とも五月下旬から十～二十日間行なわれ、大変お母さんたちから喜ばれています。お昼休みはお母さんが子どもにお乳を与えている風景もみられます。

【写真は昼休みを利用して季節保育を訪れるお母さん　上舟木児童館　脇神部落で写す】

郷土のニュース　新中卒県外就職者へ

町では、今春管内中学校を卒業して県外に就職した人たちへ、郷土のたよりとして日刊紙秋北新聞を六月一日付けから二ヵ月間就職先へ送ることになりました。

これは、さる五月十八日開かれた町民生委員全員協議会で要望されたもので、就職生徒が就職先で安心して仕事に励んでもらうためさしあたってしごとになれるまでの間送ることになりました。町からは町長の激励文を添えて発送しました。部数七十五部。

BCGの接種方法が変りました

日赤産院の赤ちゃんが集団で結核発生した事件は、去年のことです。一人も結核子防のBCGを接種していませんでした。ツベルクリン反応が陰性、疑陽性の人に接種されるBCGは、結核に感染しても発病を防ぐ。今までの注射方式（皮内法）は、人によっては接種のあとがうんだり、カイヨウができたりして、お母さんやお子さんにきらわれましたが、ことし四月からは判を押すような方法―経皮接種法に変りました。

この方法は、腕にBCG液をぬって、九本の針がついた印カンのような器具で一回押すだけという簡単なもので、今までと同じ効果（陽転率）をもち、しかもあとがうんだり、カイヨウができにくい方法です。BCGは、一定の社費によって組織されている特殊法人で、一切の社業はその社員組織によって推進されています。

町では六月一日から「社員増強運動」が始まっておりますが、あなたの近くに奉仕員がお伺いしますので、どうかご加入下さい。

ことしの鷹巣町での目標は五一三、八〇〇円です。

住宅改善に公庫融資

住宅金融公庫では、昭和四十二年度住宅改良資金貸付けの申し込みを受付けています。

申し込み受付け期間は、五月二十日から六月三十日までで、秋田、羽後銀行、秋田相互銀行の各支店、農協で受付けております。

貸付けを受けることのできる工事は、増築、改築、修繕の工事、またはこれを合せて行なう工事となっております。

貸付け金は十万円から三十五万円までの金額で、利率は年六分、償還期間は十年以内となっています。

くわしいことは役場総務課管財係へおたずねください。

不幸な子を生まないために

婚姻しようとする者および妊婦は、血清反応検査を受けることが義務づけられています。検査は無料です。必らず受けましょう。

史跡内館文庫目録を出版

教育委員会では、このほど史跡内館文庫目録を出版しました。編者は武内正俊氏で、四十一ページ。文庫三、三一〇点の目録を集録しています。

内館文庫跡は県文化財に指定されており、塾は庶民教育に功績があった。

お互いに声をかけ合おう

県では、青少年を非行や事故から、みんなで守るため、青少年同志、青少年同志の人間関係を深め、ともすると薄れがちな地域の人々の気持のつながりを強めるため、お互いに一声をかけよう運動」を進めています。

県内には、すでに愛の一声、よびかけ、あいさつなどの運動をすすめているところもあります。

①家庭で

家族同志であいさつをかわす習慣をつくりましょう。

自分の子どもでもよいことをしたらほめましょう。

自分の子はもちろん、他人の子にも注意すべき場面をみたら注意しましょう。

②学校で

だれとでもあいさつをかわしましょう。

あいさつ運動を進め、生活技術の修得技術鑑定競技会など行なっている。

【写真＝台所と調理場が一部屋にある便利な住宅】

あなたの要望ご意見を

町を明るく豊かにするため、みなさんの町政に対する要望をお寄せ下さい。

どんなことでもけっこうです。身近かな問題、ご要望など建設的な意見をお待ちしています。

希望により匿名で掲載しますが、原稿の末尾には住所、氏名、年齢、職業を明記して下さい。

原稿は二百字程度で、あて先は役場町長室調査係。

農家の生活水準を高める

生活改善実行グループ

農村において生活改善を実行している自主的なグループが、町内で五グループあります。

これは鷹巣農業改良普及所が世話役として指導し、それぞれ実情に合わせて、さらによりよい家庭づくりの方法を研究し、これを実行する主婦を主体としたグループです。

五グループのうちで先輩格のあけぼの会（脇神＝中島道校会長、会員十二名）は、昭和三十年に農家に多い万年床の開放を先んじて実行し、台所改善、食生活改善、季節保育所開設などを行なっている。脇神部落の新生活推進指定地区となった母体である。品類グループ（品類＝希田トシ会長、十三名）は家庭管理をとりあげて改善を行なっています。

グループはお互に情報や技術を交換して生活改善の促進をし、体験発表会や先進地視察、生活技術の修得技術鑑定競技会など行なっている。

【写真＝台所と調理場が一部屋にある便利な住宅】

六月のくらしのメモ

■ころもがえ

白さが目立つ季節になりました。なんとなくうすよ

ました。

ました白の下着類、ワイシャツ、ハンカチなどは適当に漂白剤を利用してさっぱりさせましょう。

合着から夏物へ、もうすっかりころもがえも済んだことでしょうが、案外合着の始末はおっくうなものです。しかし、ほっておいて雨季に入ってからの始末ではおそ過ぎます。防虫剤や乾燥剤を入れて、早目に衣類箱やタンスにしまいましょう。

夜具類もそろそろ夏がけの用意をしておきたいものです。晴れ間をみてよく日にあてて、かがさないようにおいをとばしておきましょう。

スリッパなど厚手のものがわずらわしくなる季節です。通風性のあるサラリとしたパンやパナマものなどと取りかえてはいかがです。

よい行ないを見たらお互いにほめましょう。

お互いに悪いと思ったら注意し合いましょう。

③部落（町内）で

顔見知りの人と会ったらお互いにあいさつをしましょう。

よいことをしている人をみたらほめてやりましょう

他に迷惑をかけるような場面にあったらお互いに注意し合いましょう。